

(様式1)

※()は関連したアンケート項目に対する評価

No. 1

評価対象	羅 針 盤		方 策	
	評価項目	具体的数値項目		
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は80%以上である。	・学習活動及び部活動・生徒会活動等を充実し、生徒の満足度を高める。	
		② 「総合的な学習の時間」における活動を通じて自らテーマをみつけ、解決していく探究力が身についたと感じる生徒が80%以上である。	・本校の大きな柱である「総合的な学習の時間」の意義を共通理解し、これを通じて人間形成をするのだという強い意識を持たせる。	
		③ Oxbridge研修やその報告会などのグローバル教育を通じて、グローバル社会での生き方や異文化に対する理解が進んだ生徒が80%以上である。	・Oxbridge研修参加者の体験をさまざまな機会に共有させるよう努める。	
	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	① 65分を有効に活用し、授業に80%以上の生徒が満足している。	・ICTの活用やALの導入など、授業がより充実した双方向的な内容となるよう改善を図る。また、生徒の進路希望や適性に応じたクラス編成や授業展開を行う。	
II 生徒の意欲的な学習活動について、適切な指導をしていますか。	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	① 生徒自ら考え、発表するなど、主体的な活動を行う生徒が80%以上である。	・発問内容・方法の工夫により学習意欲の向上をはかる。 ・生徒が発表する場面を意識的に増やす。	
		② 生徒が主体的に授業に取り組めるような授業改善のための研修会を各学年で年に2回以上実施している。	・授業改善推進委員会を中心に計画を立て、研究授業、授業研究を実施する。	
		③ 英語等によるコミュニケーション能力が身につけてきていると感じる生徒が90%以上である。	・AL型授業、英検受験、ディベート活動等を推進し、学校全体でコミュニケーション能力を向上させる意識を持つ。	
	4 基礎・基本の定着を図る指導が充実していますか。	① 平均家庭学習時間を1・2年で3.0時間、3年で4.5時間以上確保して、予習と復習に努めている。	・オリエンテーション等で家庭学習の大切さの理解を徹底させ、授業と家庭学習が一体となった学習活動を展開する。	
		② 学校内での朝学習や放課後の自習室利用など、校内での主体的な学習に取り組む生徒が70%以上である。	・学校に軸足を置いた学習が受験勉強の基本であることを理解させるための仕掛けを工夫する。 ・蛟龍館の自習室を7時から20時まで利用可能とした。	
	III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	5 組織的・継続的な指導を行っていますか。	① 学年会議・生徒指導部会議・教育相談係会議において、月に2回以上の生徒に関する情報交換を行っている。	・学年と生徒指導部とが密接に連携し特活部等からの情報も共有しながら、生徒の理解を深め、早期の対応を図る。
		6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	① 遅刻をする生徒が、全校平均で1日あたり10名以下である。	・学年や担任を通して家庭との連携を図りながら、自律的な生活習慣を導いていく。
			② 学校全体で、挨拶運動や規律遵守に取り組んでいる。	・学年や特活部と連携し、生徒職員が一体となって、自主的・自律的精神に基づいた活気のある学校作りを行う。
		7 生徒が自主的に活発な活動をしていますか。	① 部活動に実人数で95%以上の生徒が加入している。また、県総体総合3位以上及び関東大会以上に出場の部活動5つ以上を目指す。	・文武両道の観点から充実感に満ちた高校生活に導くと共に、部活動への真摯な取り組みと上位進出を促す。
			② 部活動が生徒の主体性を生かし、メリハリのある活動の中で充実していると感じる生徒が90%以上である。	・練習計画の作成等に生徒の意見を積極的に取り入れる。
③ 部活動に取り組む生徒のうち、文武両道を実践していると感じる生徒が70%以上である。			・学校の部活動運営方針に則した活動により、生徒の学習時間を確保する。	
④ 定期戦及び文化祭をはじめとした学校行事の内容の充実を図り、自主的・主体的に取り組めた生徒が80%以上である。			・行事等の活動に対して、生徒自身の自主的自律的な活動を促し、達成感や存在感が感じられるようにする。	
8 生徒主体のいじめ防止活動に積極的に取り組んでいますか。	① 本校の「スマホ利用ルール」を理解し、それに従った生活ができている生徒が80%以上である。	・ホームルームや学年集会、講話等の機会を捉え、指導を徹底する。		
	② 学校は、いじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていると考えている生徒が80%以上である。	・人権教育やいじめ防止への啓発活動に加え、いじめに関するアンケートを各学期に行い、実態把握から対応まで計画的・組織的に行う。		
9 読書指導が行われていますか。	① 学校図書館の貸出冊数が7,000冊を超えている。	・国語科をはじめ各教科と協力し、貸出冊数の増加を目指す。		

第1回点検・評価			第2回点検・評価		
自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
A	A	保護者、生徒ともに満足している割合が90%を超えている。今後も魅力ある学校づくりに努めたい。	A	A	保護者、生徒ともに満足している割合は90%を超えているが、昨年と比べるとその割合は若干減少している。その原因を分析し、対策を考えたい。
A	B	保護者、職員の満足度に比べると、生徒の満足度が低い。「総合的な学習の時間」の意義を、授業内の活動を通して生徒が理解できるように努めたい。	A	B	職員の満足度が80%であるのに比べると、保護者、生徒の満足度は70%前後である。来年度からの「総合的な探究の時間」に向けて、外部との連携等、対策を考えたい。
B	B	職員に比べると、保護者、生徒ともに満足度が低く目標値を下回った。報告会の形式、対象学年など、改善に向けて検討したい。	B	C	昨年に比べると、校外の様々な海外研修に、より積極的に参加を希望する生徒が増えてきた。引き続きグローバル教育の充実にも努めたい。
A	A	保護者、生徒ともに満足している割合が90%を超えている。今後もICTの活用や言語活動を充実させ、満足する生徒の割合を高めていきたい。	A	A	「80%以上が満足している」という目標は達成しているが、満足している生徒は前回より少し減少して90%を若干下回った。わかりやすく満足できる授業になるように日々授業改善を行う。
A	B	満足している割合は保護者・生徒ともに目標をやや下回った。少人数制授業・習熟度別授業のメリットが伝わりきらない原因を分析し、改善する。	A	B	学力向上のみならず、自発性・積極性などの情意面の向上という観点からも少人数授業・習熟度別授業の在り方について分析を続け、改善に取り組む。
A	C	保護者・生徒ともに目標を大きく下回った。授業を工夫するのはもちろん、様々な場面で生徒の主体的な活動を増やす必要がある。	A	C	各授業をさらに工夫することはもちろんだが、来年度以降の「総合的な探究の時間」において、生徒が主体的な取り組みができるよう実施する。
A	A	今年度は各学年ごとの授業改善に加えて、従来の各教科ごとの研修も計画・実施。	A	A	各学年、各教科ごとの研修会を実施し、多面的な授業改善に取り組んだ結果、一定の成果を上げることができたといえる。
A	C	職員の満足度に比べると、生徒の満足度が低い。基礎的な知識に加えて、パフォーマンス評価の結果などを生徒にフィードバックし、生徒がより自信をもって英語学習に取り組めるように努めたい。	B	C	職員に比べると、保護者・生徒の満足度が低い。「英語等によるコミュニケーション能力」について、CAN-DOリスト等を活用し、職員、保護者、生徒で共有できるよう工夫をするなどの対策を考えたい。
C	C	目標とする学習時間を確保できている生徒は半分程度である。スキマ時間の活用や課題の工夫などで学習を促していきたい。	C	C	「(ある程度)確保できている」と答えた生徒は1年生48%、2年生50%、3年生80%であった。低学年時の自主学習の奨励を工夫したい。
B	B	67%の生徒が早朝放課後の主体的学習に取り組んでいると答えている。好ましい傾向である。今後、受験が近づくにつれ、さらに増加すると思われる。学習室の開放を評価する生徒は9割を超えている。	B	B	学習室の開放については約9割の生徒が評価しているが、校内での主体的学習に取り組んでいる生徒は6割に留まっている。教室での早朝学習も含めて学習への取組を促したい。
B	—	学年と生徒指導部との連携は、比較的有効に機能しているように思えるが、他学年との連携については、不十分であると考えられる。	B	—	他学年との連携については、校務運営委員会等でも情報交換が実施されるようになり、以前よりは相互連絡ができる状況になってきた。
B	A	第1学期の1日平均の遅刻人数は4.5人であった。基本的な生活習慣に関する質問項目では生徒91%、保護者92%の満足度であったが、欠席等の多い生徒が増えていることが心配される。	B	A	1月までの全校平均遅刻人数は5.5人である。基本的な生活習慣に関する質問項目では生徒88%、保護者92%の満足度であったが、10月以降は特に欠席等の多い生徒が増えていることが心配される。
B	A	生徒アンケートでは91%、保護者アンケートでは92%という高い満足度である。引き続き指導を続けていきたい。	B	A	生徒アンケートでは88%、保護者アンケートでは92%という高い満足度である。引き続き指導を続けていきたい。
B	A	県総体総合優勝、関東大会出場6部、全国大会出場3部、その内、山岳部全国3位、剣道部個人ベスト8と、素晴らしい成果を上げたが、前期の実人数部活動加入率が93.2%と目標を下回り、未加入の理由等の分析が必要である。	B	A	各部とも生徒の活発な活動が見られ、学芸部においても多くのコンクール等への参加・入賞があった。未加入生徒が例年と比較して若干ではあるが多くなっており、状況分析を行い、指導していきたい。
A	B	生徒アンケートでは89%、保護者アンケートでは93%の満足度であった。生徒の目標値が若干下回った理由を検証したい。	B	B	生徒アンケートでは84%、保護者アンケートでは91%の満足度であった。3年生が引退後、活動が軌道に乗り切れていないためか、前回より数値が下がったと分析できる。
B	B	生徒アンケートでは69%、保護者アンケートでは79%の満足度であった。部活動指導でも学習意欲を高める指導を促したい。	B	B	生徒アンケートでは64%、保護者アンケートでは81%の満足度であった。生徒と保護者の数値上で差があり、この点を分析していきたい。
B	B	生徒アンケートでは78%、保護者アンケートでは86%の満足度であった。これから実施される行事で更に達成感が得られるよう、指導していきたい。	A	A	生徒アンケートでは82%、保護者アンケートでは90%の満足度であった。1年生が実際に行事を体験し、数値が上がったと考えられる。
B	B	生徒アンケートでは76%、保護者アンケートでは74%の満足度であった。他人事ではなく、自分たちの問題として考えられるよう指導していきたい。	B	B	生徒アンケートでは75%、保護者アンケートでは77%の満足度であった。大きな問題は起きていないものの、軽率な行動の報告が見られる。
A	A	生徒アンケートでは87%、保護者アンケートでは93%の満足度であった。今のところ重大事案はないものの、今後とも注意していきたい。	A	A	生徒アンケートでは78%、保護者アンケートでは89%の満足度であった。「いじめ防止取組状況調査」を実施し、いじめ防止に対する意識は高まったかと思われる。
B	C	生徒アンケートでは肯定的評価が36%程度で、もっと読書をするべきだという認識を多くの生徒が持っていることがわかる。	B	B	高校生の活字離れが進む中、読書習慣が身についた生徒が相対的には多い。各教科と連携し、読書指導を粘り強く継続していきたい。

※ () は関連したアンケート項目に対する評価

評価対象	羅 針 盤		方 策
	評価項目	具体的数値項目	
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	10 計画的な指導を行っていますか。	① 進路に関するLHRを各学年で年に10回以上実施し、80%以上の生徒が進路選択の参考になると認識している。	・進路指導部が年度当初に3年間を見据えた指導計画の大枠を提示する。
		② 「前高ジャーナル」、「進路概況」や「進学の手引」を、80%以上の生徒が役に立つと認識している。	・これまでの指導のノウハウを継承しながら、さまざまな場面で資料を有効活用する。
		③ 研修旅行、社会人講演会、インターンシップ等のキャリア教育行事に満足している生徒が80%以上である。	・生徒の進路意識・職業意識を高める進路行事を進路指導部と学年が連携して計画・立案し、実施する。
11 生徒は自らの進路希望について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	11 生徒は自らの進路希望について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	① 土曜登校学習や平常時及び長期休業中の補習授業が、進路希望の実現に役立っていると感じている生徒が80%以上である。	・生徒の実態に応じて作成する年間指導計画に基づいて実施する。
		② 夏季休業中の学習合宿に参加した生徒のうち、学習合宿が進路希望の実現に役立っていると感じている生徒が90%以上である。	・前年度までの総括をもとに、学習合宿実施の意義に見合った時期・場所・内容等の検討を行う。
		③ 生徒のより高い進路目標の実現を目指し、生徒の大学合格率が80%以上、大学進学率が70%以上である。	・納得のいく進路選択ができるよう適切な情報を提供するとともに、同じ志を持つ生徒同士の相互作用をうまく誘導する。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	12 家庭、地域社会に積極的な情報発信をしていますか。	① 「前高web page」の内容を月2回更新し、学習・進路・部活動等各種情報を発信している。	・各分掌・部活動等から直接情報を書き込めるシステムに変更するとともに、学校行事等の記事を発信する。
		② 学校通信「前高通信」などによる学校からの情報提供に満足している生徒・保護者が80%以上である。	・行事ごとの記録や、各分掌・学年・部活動の情報収集を行い、月刊程度で発刊を行う。
	13 家庭、地域社会の教育力を活用していますか。	① 保護者や地域社会の人を講師とした講演会などを年に2回以上実施している。	・PTA・母の会等との連携を密にして、講師の選定を行う。PTA新聞作成に当たり、保護者役員の制作活動や情報収集をサポートする。
14 生徒の安全意識向上の取り組みを行っていますか。	14 生徒の安全意識向上の取り組みを行っていますか。	① 規範意識と危険回避能力を高める指導を行い、自転車事故15件以下を目指して指導する。	・交通法規やマナーの徹底に加え、余裕を持った早朝登校や、大通りを利用した通学など、事故に遭いにくい通学を促す。
		② 自転車事故減少に向けた交通安全教室や諸注意を受け、交通マナー・規則遵守の精神で自転車運転を行っていると感じている生徒が90%以上である。	・交通安全教室の形態・指導内容等を高校生に合ったものになるように工夫する。
15 環境面で生徒の安全が確保されていますか。	① 災害発生時に適切な行動をとることができると感じている生徒が80%以上である。	・毎月安全点検を実施し、施設的に問題の改善に努める。 ・河川の氾濫による浸水時の避難マニュアルを策定する。 ・年2回の防災避難訓練の実施と、浸水時を含めた防災マニュアルの周知により、災害発生時に職員・生徒が適切な対応をできるようにする。	
VI 学校における生徒の健康・安全に努めていますか。	16 保健面で生徒の健康が確保されていますか。	① 健康面で安心感があると、80%以上の生徒が回答している。	・保健委員会活動(保健だより等)により、感染症・健康に関する情報を発信する。

第1回点検・評価		第2回点検・評価	
自己評価	外部アンケート等	自己評価	外部アンケート等
A	A	A	A
A	A	A	A
B	A	A	A
B	C	B	C
A	A	A	A
未	未	B	—
A	A	B	A
A	A	B	A
A	—	A	—
B	—	B	—
B	A	B	A
A	A	A	A
A	A	A	A

各学年とも進路に関するLHRを10回以上計画している。参考になると回答した生徒は86%だった。

90%の生徒が役に立つと回答している。一方、「あまり見ていない」、「見ていない」保護者が3割強いる点は改善の余地がある。

思った以上に生徒の満足度は高く、84%に達している。今後もより有益な行事を模索していきたい。

役立っていると答えた生徒は、希望者中心の平常時補習が85%、短期集中型の長期休業中補習が73%、間隔が空く土曜登校学習が65%だった。

参加生徒のうち、今後の学習に役立つと答えた生徒は、どの学年も9割を超えていた。きわめて満足度の高い行事である。

生徒が納得して志望校を選択できるよう、さまざまな情報を提供していきたい。3年生では志望校別の囲い込み指導を学期に1回程度実施している。

Webページについて充実していると答えた保護者・生徒は9割を超えていた。

学校からの情報提供に満足している、おおむね満足していると答えた保護者・生徒が9割を超えていた。

PTA・母の会役員との協力体制のもと、充実した講演会が行われた(母の会)。PTA新聞第70号が予定通り発刊された。また、PTA総会出席率は総会46%、学年別懇談会68%だった。

自転車事故件数は昨年より若干少ない(12件)、一時停止違反など重大事故につながるような行動も見られる。

生徒アンケートでは91%、保護者アンケートでは93%の満足度である。少なくなってきたものの外部からの苦情がたびたび寄せられる。

安全点検は滞りなく実施できており、必要な手立は講じられている。防災避難訓練では昨年度を大幅に上回る記録で全員が無事に避難できた。点呼の際にも少し効率的にできるクラスを増加させられれば、さらに良いものになるだろう。河川氾濫時の避難マニュアルに関しては、前橋市のハザードマップは入手済みだが、行政の進行状況を待つ動きだしたいと考えている。

生徒は80%以上が健康上の安心感があると回答している。保健委員会の活動は、今年度は生徒の睡眠と栄養に関する実態を把握するアンケートを行い、改善に向けた取り組みを進めている。また、学校暦と連動させて、保健便りの発行を行い、情報発信に努めている。今後も、取り組みを進めていきたい。

保護者(86%)、生徒(83%)、職員(93%)ともに評価する声が大半を占めている。進路指導に関してLHRが有効に活用されている。

87%の生徒が「役に立っている」と回答しており、発行のねらいはほぼ達成できている。保護者への周知についてはメールやWebを活用したい。

評価する声は、保護者が95%、生徒が87%、職員が89%で、各種進路行事が進路意識涵養の面でうまく機能している。

アンケート結果は前回と同じような傾向を見せている。社会や生徒の実体の変化もあり、形態や内容などの見直しが必要なかもしれない。

学校評価アンケートでは「(概ね)役に立っている」と答えた生徒は76%にとどまっているが、参加生徒の実施後のアンケートでは9割以上の評価を得ている。有意義な行事だと言える。

二者面談を中心とした丁寧な個別指導が浸透した結果、志望校検討会の運営も円滑になり、時間短縮につながった。

Webページについて、「充実している」「概ね充実している」と答えた保護者は85%あった。今後はできるだけ新しい情報を発信していくことが必要である。

学校からの情報提供に満足している、概ね満足していると答え保護者は91%であった。月刊程度の発行はできなかったが、次年度は多く発刊したい。

PTA新聞第71号が発刊され、定期戦や優曇華における生徒の活躍を初め、開校記念講演会や小学生・保護者対象の高崎高校との合同学校説明会等、学校の発信する内容が紹介された。

2学期に入り事故件数が増え、18件(1月15日現在)で、昨年の総数を上回ってしまった。ほとんどが軽微なものであるが、重大事故につながるような行動も見られる。

生徒アンケートでは88%、保護者アンケートでは91%の満足度である。今年度はスケアードストレートが実施でき、より事故の怖さが実感できたように思える。

生徒アンケートでは90%、保護者アンケートでは96%が防災避難訓練を通して無事に避難できる自信をつけているという回答であった。毎年、何らかの改善を入れながら取り組んでいる効果が出ているものと考えられる。今年度の懸案事項であった河川氾濫時の避難マニュアルについては、前橋市と連携をとりながら完成させたい。

生徒アンケート、保護者アンケートともに80%が健康状態について良好で、安定していると答えているが、保健委員会の調査結果でも課題(睡眠不足、睡眠前のスマホ使用等)が見つかったので、今後も取り組みを進めていきたい。